

土曜子ども教室 [7月のポイント!]



尾張徳川家のお寺「建中寺」

建中寺

仏教への深い信仰心をもっていた尾張徳川家2代光友は、父である初代義直を供養するために新たに「建中寺」というお寺を建てました。

建中寺は歴代当主のほか正室・生母らが埋葬され、広大な墓地を持ち、格式の高いお寺です。しかし、天明5年(1785)に火災でほとんどの建物が焼失してしまいました。9代宗睦が力を尽くし、次の年には再建され、寛政11年(1799)の義直150回御忌に合わせ、新しく御霊屋(現在の徳川家御霊屋)が建てられました。

尾張徳川家の代々の当主やゆかりの人々によって、様々な宝物や亡くなった人々が大切にされた品々が建中寺に納められました。



建中寺 本堂



徳川義直(尾張家初代)



徳川光友(尾張家2代)

御霊屋の修理



徳川家御霊屋 本殿

御霊屋には尾張徳川家の歴代当主や家族たちの位牌が安置されており、愛知県の登録有形文化財に指定されています。

平成24年(2012)から28年にかけて、柱や壁などに施された色(彩色)が落ちないように修理したり、見取図の作成したりする修理事業が行われました。令和2年(2020)から5年には、屋根の葺き替えなどの修理が行われました。

これからも彩色の復元も計画されており、代々守られてきた文化財を未来に残す取り組みが進められています。



彩色の修理

注射器を使った膠液の注入作業



剥落止めの修理後



屋根の修理

本殿の土居葺きを葺き直した。

ぶつねはんず
仏涅槃図すえながかつひでひつ
末永勝秀筆えとじだい
江戸時代せいぎ
17世紀かでのこうじ
勘解由小路おわりけ
(尾張家2代光友側室)だいつともそくしつ
寄進

きしん

けんちゆうじそう
建中寺蔵

見どころ1

ちゅうおう ね ひと ちゅうもく
中央の寝ている人に注目！

見どころ2

しやか
お釈迦さまのまわりに
いるのはだれ？

見どころ3

ひと どうぶつ
人や動物、みんなどんな
表情をしてるかな？【ねはんず
涅槃図とは】

ぶつぎょう そうししや ぶつぎょう おし ひろ しゃか
 仏教の創始者で、仏教の教えを広めたお釈迦
 さまが亡くなった場面が描かれています。「涅槃
 図」とは安らぎ、悟りの境地という意味です。

そら うつく まんげつ う か てん
 空には美しい満月が浮かび、天から駆けつけ
 ているのはお釈迦さまの母・摩耶夫人です。8
 ほん さら そつじゆ あいた よこ しゃか
 本ある沙羅双樹の間に横たわるお釈迦さまの周
 りでは、菩薩や仏の弟子、天部（天界に住む護
 ほうしん しゃか
 法神）がお釈迦さまももに駆けつけています。
 あつ どうぶつ かな
 集まった動物たちは悲しんでいます。

• この絵から気づいたことを書いてね •

